

研究計画書

<b>ゼミ名</b>	石川ゼミⅡ	<b>チーム名</b>	石川路玉子
<b>タイトル</b>	みんな違ってみんないい！		
<b>テーマ群</b>	c) 公共経済		
<b>メンバー</b>			
<b>研究計画内容</b>	<p>皆さんはこれまでの人生の中でどのような人々と出逢ってきましたか？学校やアルバイト先などで、多くの人々と関わってきたと感じている人も多いと思いますが、現実には、皆さんの想像を超えたさまざまな立場／境遇に置かれている人々が数多く存在しています。</p> <p>私たちはこれまでゼミ活動を通じて「社会的マイノリティ」の子どもたちが抱える「生きづらさ」に直面してきました。その中で私たちは、このような人々が自分の可能性に気づき活躍できる場を創るにはどうすればいいか、またより多くの人々が公平で幸せな生活を送ることができるにはどうすればいいか、について研究を続けています。</p> <p>石川ゼミでは、何らかの生きづらさを感じている子どもたちを対象に、「ふれあいまつり」や「まなびんピック」といったイベントを企画・実施しています。私たちの活動は、単なるボランティア活動ではなく、市場経済の中で供給されない財やサービスを学生が主体となって供給するという活動です。社会の中で特殊なニーズを必要とする人々に対して、行政支援という形ではなく、あくまでも市場メカニズムの中で財やサービスを供給する方法は何か。私たちは、その方法を模索し続けています。</p> <p>現在、私たちは大学から助成金をいただき、これを原資としてイベントを実施していますが、この活動を継続的かつ安定的に実施するためにも、今後はゼミ生だけではなく他大学や地元の方々との協力体制の構築が必要不可欠です。この発表では、現在の私たちの活動を紹介するとともに、多くのステイクホルダーを巻き込むためのインセンティブを検討することによって、社会的マイノリティに対する財・サービスの継続的な供給システムを提案します。私たちが目指すべき「理想の社会」とは何かについて一緒に考えていきましょう。</p>		